

夜発 3日間

富士登山

行程表



夜発たっぷり1日満喫(富士宮口)コース

■出発日： 月 日 () ■レンタル：□付 (名) □なし (名) ■往路バスタイプ：スタンダード
 ■復路バスタイプ：□スタンダード □3列シート □リラックス ※添乗員・富士登山ガイドはつきません。お客様のペースで登山ください。下記スケジュールの時間配分はあくまで一例となります。

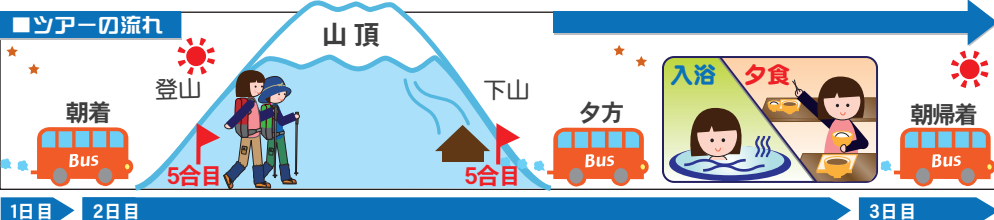
スケジュール

日	スケジュール	食事
1	<<新幹線シャトル/JR特急シャトル/新大阪・京都まで移動し乗換 JR高速バスシャトル/梅田まで移動後各自で新大阪へ移動>> <<シャトル/明石(20:00発)・口岸和田(20:35発)・口三ノ宮(20:50発)・口難波(21:25発)・口梅田(21:50発)>>= =口新大阪(22:30発)=口京都(23:30発)=<名神高速>=口草津(23:55発)=<名神・東名又は新東名道>=(車中泊)	☒
2	=静岡・富嶽温泉 花の湯にて朝食・着替<オプションにて入浴(事前支払500円)>= ※入浴は事前申込・事前支払のお客様のみ =富士山スカイライン=富士山新5合目(富士宮口)(9:00頃着)= =各自準備・食事等をして登山開始<<お客様のペースで登山>>・頂上(お鉢巡り)・下山・富士山新5合目(富士宮口)・路線バス/富士急静岡バス…… →……花の湯前……花の湯(温泉入浴&夕食)(23:10発)=<東名又は新東名高速>=(車中泊)	朝 昼 お弁当 夕
3	=<東名又は新東名・名神高速>=口JR草津駅周辺(5:10頃着)=口JR京都駅周辺(6:00頃着)=口JR新大阪駅周辺(6:50頃着)=口JR大阪駅周辺(7:00頃着)= =口近鉄難波駅周辺(7:20頃着)=※スタンダードバスのみ=口JR三ノ宮駅周辺(8:20頃着)=口JR明石駅周辺(9:00頃着) <<新幹線シャトル/JR特急シャトル/新大阪・京都下車後各自で乗換 JR高速バスシャトル/大阪(梅田)下車後各自移動にて各自で乗換>>	☒

	①	②	③
富士宮口五合目発	16:00	17:30	19:00
花の湯入口着	17:04	18:34	20:04

たっぷり1日満喫富士登山コースのご案内

※このコースでは添乗員・登山ガイドはつきません。お客様自身のペースで登山していただき、下山集合時間は厳守してください。※スケジュール上の時間配分はあくまで一例となります。※ご利用のバスは往路と復路で変わる場合がございます。バスの車内ではお荷物をお預かりすることはできません。富士宮口新五合目・レストセンター内食堂にて「サンシャインツアー」で参加し、通常1,000円のお預かり料が、500円にてご利用頂けます。※登山中は決して無理をせず、体調不良等の場合は下山してください。※バスは定刻に出発致しますので時間厳守をお願いします。お帰りのバスの時間により万一登頂ができない場合でも旅行代金の返金はございませんので予めご了承ください。



ツアーインフォメーション(必ずお読み下さい。)

- 天候や交通・登山道状況等の事情により、行程・利用施設・スケジュールが予告なく変更になる場合がございます。
- 現地ガイド・安全指導センターの判断により登山を中止する場合がございます。予めご了承下さい。その場合でも旅行代金の返金はありません。
- 富士山の天候は非常に変わりやすく、急ぎ雨に見舞われる場合があります。雨具をお持ちでない場合は途中リタイアして頂くことがあります。
- 万一、現地到着時刻が遅れて、現地滞在時間の短縮や、帰着が遅れて、タクシーの利用もしくは宿泊を余儀なくされる事態が発生しても、弊社は一切の請求には応じられません。
- 富士山保全協力金として、1,000円を道中に徴収いたします。任意ではありますがご協力お願い致します。
- 集合場所、時間は厳守にてお願いします。万一遅られる場合は前途放棄されたものとしてバスは出発いたします。
- お荷物はバス車内に置く事ができません。貴重品は必ず身についておくようお願いいたします。お荷物は富士宮口新五合目・レストセンター内食堂にてございます注文カウンターにて、「サンシャインツアー」で参加し、通常1,000円のお預かり料が、500円にてご利用頂けます。
- 交通事情等により予定通りに運行出来ない場合があります。この場合バスルートの変更、発着時刻の遅延等が発生いたしますので予めご了承お願いいたします。
- レンタル付のお客様は新五合目受取・返却となります。
- バスタイヤは2018年4月1日現在の時間となり、変更になる場合がございます。詳しくはバス会社にお客様ご自身でご確認ください。
- 温泉施設「花の湯」では、フェスタオル・バスタオル付です。

登山中の注意事項

- (高山病) 3,000mを超える高所の高、登山中に頭痛・吐き気など気持ちが悪くなってしまう場合がございます。対応として、まず五合目ではしばらく時間をかけて体を十分に慣らして出発して下さい。それと自分のペースで登って下さい。それと水分はこまめに摂る事が重要です。
- (雷と注意) 富士山では雷と強風が発生しやすくなります。雷鳴が聞こえたら、すぐに最寄りの山小屋へ避難して下さい。また強風の場合も落石や風に吹き飛ばされ崖から転落する危険性があるので、悪天候時は最寄りの山小屋に避難して下さい。
- (曇りと日差し注意) 富士山は標高が高いとはいえ、下山するにつれて晴天時には暑くなります。日陰が少ないので、日よけの帽子、水分を必ずご用意して日射病や脱水症状にならないように注意して下さい。
- (ゴミは必ず持ち帰り) 自分が持ち込んだゴミは必ず持ち帰りましょう。ゴミは山小屋ではひきとってくれません。
- (下山が一苦労) 登りよりも下山の方が足に負担がかかる為、足元をしっかりと確認し、関節やつま先が痛くなってもとつらして下さい。
- (トイレは有料) 富士山では五合目以降トイレは全て有料(50円~200円)です。必ず小銭をご用意ください。

出発時の緊急連絡先

- 集合時間の10分前より受付 ●予約・変更などはできません
- 集合場所がわからない場合、出発時間になってもバスが来ないなど

【右記以外】06-6344-7419【京都・草津発】080-2451-6433

■関西発 集合場所「フジサミット」の受付までお越しください。

※新大阪・京都・草津以外はシャトルバスです。新大阪・京都にて乗り換えとなります。

※路線バスご利用の方は梅田駅下車後、各自で新大阪へ移動になります。

受付場所の目印

フジサミットの係員がご案内します。

添乗員が受付を行います。

バス乗務員が受付を行います。

明石 (関西)

JR山陽明石駅東側高架下 山陽タクシー乗場

19:50集合 20:00出発

三ノ宮 (関西)

三ノ宮東口 神戸中央区役所前

20:40集合 20:50出発

岸和田 (関西)

南海本線岸和田駅東口KF-Park駐車場前

20:20集合 20:35出発

なんば (関西)

難波OCAT内1F団体受付カウンター

21:10集合 21:25出発

梅田 (関西)

大阪駅前第4ビル東側

21:35集合 21:50出発

新大阪 (関西)

新大阪駅南側 団体バス駐車場

22:15集合 22:30出発

京都 (関西)

JR京都駅八条口 アバンティ前

23:15集合 23:30出発

草津 (関西)

JR草津駅西口ロータリー内

24:10集合 24:20出発

バスのご案内 ○バスの座席は指定席となり、出発当日ご案内します。○車内は全席禁煙です。○車内では携帯電話はマナーモードにしてください。○約3時間毎に、サービスエリアでトイレ休憩をとります。○必ずシートベルトの着用をお願い致します。○シャトルバスは乗車の場合は新大阪又は京都にて乗り換えとなります。連絡バス車種は申込済みバスタイプとは異なる場合があります。○バスの最後列のシート及び一部のシートはリクライニングができない場合があります。また、シート位置により前後の間隔が異なる場合がございます。○夜行運行時は乗務員2名で運行致します。

ザックは30Lが目安。雨天用にはザックカバーも用意しよう。

- 雨具** 山の天気は変わりやすい。持参の雨具は必ず上着の型をセパレートタイプがよい。コートやテック系がおすすめ。
- 防風具** フリースや保衣。さらにセパレートタイプのウェア、暖手ウォーマー、レインシューズなど風を遮られるもの。
- 軽食類** おにぎりやパン、好きなもの、飲み物、チョコレート、缶詰、缶ジュース、疲労回復効果のあるエネルギーゼリーなど。
- 着替え** 汗をかくので必ず2着以上。雨天時は濡れるのでビニール袋に入れておく。
- 飲料水** 500ml2本が目安。到着までが山小屋での購入も可能。
- ヘッドライト** 夜明け前に歩かされるため必須品!!
- その他** □時計 □タオル □ゴミ持ち帰り用袋 □携帯電話 □アタッチパーカー

服装・荷物の準備をしよう

服装はアバイス

- 帽子 ハット・キャップ。型どちでOK。必需品!!
- 手袋 寒さよけ、ケガを予防するためにも必要。
- Tシャツ 下着として着用もでき、暑ければ上着を脱いでTシャツ一枚に。なにもいいの便利。
- ズボン 伸縮性があれば普通のズボンでもOK。Gパンは乾きが悪く不可。
- くつ ママや靴ずれを防ぐために厚手のものを。
- 上着 体温の調整を素早くするために脱ぎやすいもの。
- 下着 汗をかくので下着は必ず用意しよう。
- ステッキ 下山時にヒザへの負担が軽減される。あれば便利。
- スパッツ 砂が靴の中に入るのを防いでくれる。あれば大変便利。
- 靴 砂が入りにくく、足首まで保護できる物が望ましい。靴底がしっかりしたハイカット(くるぶしを被う深い靴)のものがおすすめ。